

# KURUME CITY ART MUSEUM 2016.11.19(土) OPEN

## 楽しみと幸福の時間。

変化に富んだ庭園とともにある、美術、音楽、図書。

ここを訪れる人は足を運ぶにつれ、異なった楽しみに出会います。

花々や、創作、アートのイベントで、心浮き立つような楽しみをおぼえます。

「世の人々の楽しみと幸福の為に」。

建設・寄贈した石橋正二郎の想いを受け継いで、

私たちは久留米の地で、楽しみと幸福のある時間を創っています。



久留米市美術館

KURUME CITY ART MUSEUM  
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

2016年11月19日(土) 開館

久留米市美術館 開館式11月19日(土)9時30分(石橋文化センター正門前)

石橋正二郎記念館 同日開館

# 久留米市美術館について

久留米市美術館は、1956年に開館した石橋美術館の活動を引き継ぎ、2016年11月19日、新たにスタートします。魅力的な展覧会や、園内と連携したイベントなどを通して、美術にふれる楽しさをたくさんの人に伝えていきたい。そして、四季折々の花や緑があふれる庭園に囲まれたこの美術館が、これからもずっと、みなさんの憩いの場、楽しみ場の場として、特別な場所であり続けてほしい。久留米市美術館は、この思いを大事にして、未来へ向かって歩き出します。



## 石橋正二郎記念館 同日開館

石橋正二郎記念館は、石橋文化センター開園60周年を迎えた2016年11月に、石橋美術館別館を改修し、公益財団法人石橋財団より久留米市に寄贈されるものです。また石橋正二郎ゆかりの施設としてははじめての公開施設となります。石橋正二郎は生涯を通じて、故郷である福岡県久留米市の発展に尽くしました。郷里の発展と文化振興を願い建設した石橋文化センターは、1956年の開園当初から多くの人々に親しまれるとともに、時代の要請に応じてその姿を変えてきました。当記念館では、その芸術文化の拠点としての変遷と、石橋正二郎の歩みやひととなり、映像や音声などのマルチメディア資料なども交えながら紹介します。

**入館料** 一般/シニア・大高生 300円 中学生以下無料

**休館日** 月曜日(祝日や振替休日の場合は開館)、12月28日~1月3日 及び展示替期間中

※ 久留米市美術館主催展覧会の子チケットをお持ちのお客様は無料で入館できます。



イメージ図

# 久留米市美術館開館記念展 11月19日(土) — 2017年1月22日(日)

久留米市美術館の開館を記念して、九州をテーマにした展覧会を、本館1階と2階で同時開催いたします！

## 2016 ふたたび久留米からはじまる。九州洋画 (2階)

日本近代洋画の歴史は、九州人が担ってきたと言っても過言ではないほど、九州は多くの洋画家たちを輩出してきました。そもそも「洋画」とは、明治期に生まれたもので、西洋画=油絵の技法を用いて描かれた絵画のことをいいます。西洋画の迫真的な描写に驚き魅了されたことから日本の洋画の歴史は始まります。その最初期の画家として位置づけられるのが、百武兼行(佐賀)、曾山幸彦(鹿児島)です。東京美術学校で教鞭をとった黒田清輝(鹿児島)と藤島武二(鹿児島)、その後継者の岡田三郎助(佐賀)と和田英作(鹿児島)も九州出身。青木繁(福岡)、坂本繁二郎(福岡)、古賀春江(福岡)、児島善三郎(福岡)、海老原喜之助(鹿児島)、瑛九(宮崎)らもまた九州人です。

この展覧会では、九州に生まれた、あるいは九州にゆかりの総勢65名の洋画家たちの作品約110点によって、現代に受けつがれる洋画の流れをたどるとともに、九州の豊かな文化力と魅力を伝えたいと思います。



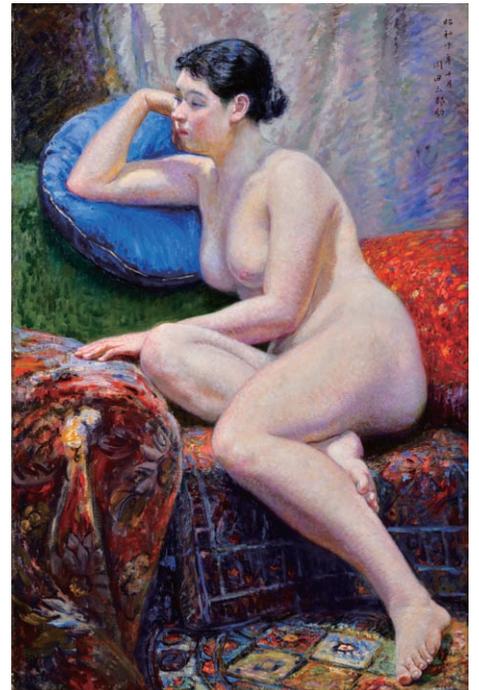
スペシャルナビゲーター  
吉田羊さん

テレビや映画など各方面で大活躍中の久留米出身の女優・吉田羊さんが久留米市美術館の開館を祝い、初めて音声ガイドに挑戦します。

音声ガイド 300円

入館料 一般1,000円(800円)、  
シニア700円(500円)、  
大高生500円(400円)、中学生以下無料

※( )内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上  
※上記料金にて、石橋正二郎記念館もごらんいただけます。  
前売券は、チケットぴあ、ローソンチケット取り扱い店などにて600円で販売(Pコード:767-907・Lコード:85057)  
※11月19日(土)、20日(日)、23日(水・祝)、26日(土)、27日(日)は、19:00まで延長開館(入館は18:30まで)



岡田三郎助《裸婦》1935年 佐賀県立美術館蔵

## 九州をあそぼうダンボールアート遊園地 in くるめ (1階)

チャンピオンズ(テレビ東京)などでおなじみのダンボール王 岡村剛一郎が驚きの発想と技術によって生み出すダンボールアートの世界をご紹介します。今回のテーマは「九州」。九州各県の見どころをダンボール製の遊具に仕立て、1部屋1県、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄をテーマとし8部屋を展開します。九州の地理や文化をご紹介しますパネルも設置。ぜひご家族でお楽しみください。

展覧会中にワークショップを開催します。詳しくは、展覧会チラシ、美術館HPをご覧ください。

入館料 3歳以上500円 2歳以下は無料 本館1、2階の両展をご覧になる方には入館料割引があります。

※小学生以下のお子様は、保護者様同伴でご参加ください。



過去の展覧会の様子

### 次回展予告 | 「生誕140年 吉田博展」

2017年2月4日(土) — 3月20日(月・祝)

久留米市出身で、明治から昭和にかけて風景画の第一人者として活躍した吉田博の生誕140年を記念した大回顧展。湿潤な日本の風景をみずみずしく描いた水彩画や、雄大な高山美をとらえた油彩画、ダイアナ元妃にも愛された木版画のほか、初公開の写生帖など200点以上を紹介。全国5会場を巡回し、九州では久留米市美術館のみの開催です。

《レニヤ山(米国シリーズ)》木版 1925年 千葉市美術館蔵



# 開館記念イベント

久留米市美術館の開館を記念して、多彩なイベントを開催します。  
石橋文化センター全体がアートに包まれる一日をお楽しみください！

**久留米市美術館開館記念文化特別講演会**  
**私の半生を振り返って—ストックホルムへの道—**  
11月19日(土) 11時開演 講師: 大村 智氏 ※事前申込み終了



大村 智 / 1935年山梨県韭崎市生まれ。北里大学特別栄誉教授、米国ウエスレーヤン大学教授、韭崎大村美術館館長。2015年ノーベル生理学・医学賞を受賞。山梨県韭崎市に韭崎大村美術館を建設、収集していた2000点余の絵画、陶器及び彫刻等と共に韭崎市に寄贈。

会場 石橋文化ホール

**久留米市美術館開館記念公演**  
**enra PROXIMA in KURUME**  
11月20日(日) 13時30分開演



内閣総理大臣主催公式歓迎晩さん会でIOC評価委員を魅了し、東京五輪招致に貢献するなど、世界各地で絶賛されるenraが久留米初上陸!この機会をお見逃しなく。

入館料 全席指定  
一般3,500円(学生1,500円)  
会場 石橋文化ホール

## アーティストとのコラボレーション

**次世代の子どもたち×石橋文化センター**  
地元の若手アーティストと子どもたちが、巨匠モネの『睡蓮』をモチーフに制作した巨大絵画を展示いたします。秋風にそよぐ圧倒的なスケールのアート作品をお楽しみください。



**アーティストの卵×石橋文化センター**  
アーティストを目指す九州の若者たちが、石橋文化センターから着想を得て制作したアート作品を展示。坂本繁二郎旧アトリエ周辺の魅力を、昼と夜とで違った表情を見せる演出をお楽しみください。



**東北のアーティスト×石橋文化センター**  
姉妹都市、郡山市の2mの巨大だるまと久留米餅をテーマとしたアート作品が出現! 11/19、20、憩の森でワークショップを開催。東北と久留米がコラボレーションしたアート作品をつくろう!



日時: 11月19日(土)、20日(日)、23日(水・祝)、26日(土)、27日(日)、10:00~20:00 会場: 憩の森、坂本繁二郎旧アトリエ周辺

## アートフェスティバル 11月19日(土)、20日(日)、23日(水・祝)、26日(土)、27日(日)開催

**アートマーケット** | 10:00~16:30  
会場: 憩の森

**コンサート** | ①12:00~12:30 ②18:00~18:30  
会場: ①バラ園、他 ②石橋正二郎記念館2階ロビー ※②は入館料が必要です。

**ワークショップ** | ①10:30~11:30 ②13:30~14:30  
「アートに触れようワークショップ」会場: 坂本繁二郎旧アトリエ周辺  
※ 23日(水・祝)、26日(土)、27日(日)のみ開催

**フリーマーケット&カフェ** | 10:00~16:30 (一部20時まで)  
会場: 白鳥の池、図書館南側周辺

**庭園ライトアップ** | 17:00~20:00  
会場: 石橋文化センター園内全域・各施設

**スケッチ大会** | 10:00~16:00  
会場: 石橋文化センター園内全域 持参物: がはん、画材(えのく、クレヨン、クレパス等)  
※ 23日(水・祝)のみ開催

スペシャルパートナー **BRIDGESTONE**

特別協賛

人へ、地域へ、そして世界へ。  
**久留米大学**

あなたのまちの  
**筑邦銀行**

## 久留米市美術館アクセス情報

**開館時間** 10:00~17:00 (入館は16:30まで) ※開館記念イベント実施日は19:00まで開館  
**休館日** 月曜日(祝日や振替休日の場合は開館)、年末年始(12月28日~1月3日)、及び展示替期間中  
**交通案内** <バス> 西鉄バス①⑦⑧⑨⑩系統JR久留米駅より約15分、西鉄久留米駅より約5分  
「文化センター前」下車 <車> 久留米インターより国道322号線へ車で約10分  
**駐車場** 最初の2時間まで200円、以後30分ごとに100円増。※30分以内の出庫は無料。  
入庫から24時間最大1,000円 ※24時間以降30分ごと100円増  
園内利用のバスは、1台500円最長1日まで。(要予約)  
**所在地** 〒839-0862 久留米市野中町1015番地 石橋文化センター内  
**お問い合わせ** 石橋文化センター TEL: 0942-33-2271 FAX: 0942-39-7837

